

「1960年の五木村の暮らしー佐々木高明氏の写真からー」開催報告

2019（令和元）年11月2日に熊本県球磨郡五木村の熊本県五木村伝統文化伝承館にて、国内セミナー「1960年の五木村の暮らしー佐々木高明氏の写真からー」を開催いたしました。本セミナーは五木村教育委員会、五木村歴史文化交流館との共催として、地元自治体の協力により開催することができました。地元の郷土研究会や現地メディアの方々など、30名以上の参加がありました。

民博第2代館長であった故・佐々木高明氏は、焼き畑研究の第一人者として知られていますが、彼の調査・研究のスタートは五木村であり、1960年に彼が撮影した写真を中心に、当時の五木村と焼畑研究の現在について検討しました。参加された方々より当時の記憶に基づく貴重な証言を伺う機会となりました。

プログラム：

趣旨説明：佐々木高明と五木村

五木村の稲作以前

九州山地の焼き畑

四国山地、赤石山脈の焼き畑と作物

五木村の焼き畑をめぐって

池谷和信（国立民族学博物館）

福原博信（ヒストリアテラス五木谷）

川野和明（鹿児島県立短期大学）

川上 香（総合研究大学院大学）

「五木村郷土研究会」との交流